

## 令和元年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 2-3-1 災害対策事業

### 【予算反映等改善事項】

災害対策事業については、近年、頻発する大規模自然災害発生時においても市民の安心・安全を確保するための取組みとして、洪水・土砂災害ハザードマップの全戸配布、計画的な備蓄食料等の更新、市総合防災訓練及び自主防災組織を主体とした地域での防災訓練、防災出前講座を継続して実施するなど、災害に強いまちづくりを目指し、事業を進めてまいりました。

令和3年度予算につきましては、津波発生時における円滑な避難行動に繋げていただくために、平成25年度に作成した津波ハザードマップ（紙版）を更新し全戸に配布することで、市民の防災意識の普及啓発に努めるとともに、議会評価を受け、別事業とはなりますが、地域における防災リーダーを養成することを目的に、防災士資格取得に係る費用の一部を助成する制度を新規に創設することとしております。

また、コロナ禍において、避難所での感染症対策として、パーティションや段ボールベッドの整備・拡充を図るとともに、3密回避を目的に分散避難が推奨されていることから、要配慮者等を対象とした民間宿泊施設への事前避難に対する費用を助成する制度を創設するなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮した避難所運営に努めてまいります。

上記以外にも、今後いつ発生するかわからない南海トラフ巨大地震に備えるため、津波避難施設のさらなる拡充に努めるとともに、既存・新築を問わず基準を満たす建築物については施設管理者等の理解と協力を得たうえで、県の補助事業を活用し外付け階段を設置するなど、避難施設の機能強化を行うことにより、津波災害への対策に取り組んでまいります。